博士課程教育リーディングプログラム 採択プログラムに係るフォローアップについて

平成23年11月28日 (平成25年3月11日改正) (平成26年2月25日改正) (平成27年3月18日改正) (平成27年3月18日改正) (平成28年2月29日改正) (平成29年3月6日改正) 博士課程教育リーディングプログラム委員会決定

1. 内容

事業目的の着実な達成に資するため、採択プログラムを実施する大学(以下「大学」という。)に赴き、プログラム参加学生(以下「学生」という。)を含む関係者との質疑応答及び教育現場・施設の視察等を行うことにより、プログラムの進捗状況を適切に把握・確認するとともに、必要に応じて指導・助言を行う。

2. 実施体制

- (1) フォローアップは、博士課程教育リーディングプログラム委員会(以下「委員会」という。) の類型別審査・評価部会(以下「部会」という。) を中心に行う。
- (2) 部会は、採択プログラムごとに、フォローアップ担当委員(以下「担当委員」という。) として、原則として部会委員のうち3名の委員(主担当委員として学界1名、副担当委員 として学界1名及び産業界1名)を割り当てる。
- (3) また、担当委員との連携のもとに、各採択プログラム(複数を兼ねる場合を含む。)に対する日常的な進捗状況の把握、相談、助言等を行うプログラムオフィサー(以下「PO」という。)を別に置く。PO は、企業、国際機関、外国の大学等、海外での勤務経験を有する者等のうちから独立行政法人日本学術振興会(以下「振興会」という。)理事長が任命する。

3. 実施方法

(1) 実施手順

<大学>

大学は、自己点検評価や外部評価により、採択プログラムの適正な実施に努めつつ、毎年度終了時に、採択プログラムごとに実施状況報告書(別紙1)を作成し、委員会に提出する。なお、中間・事後評価実施前年度分の同報告書の作成・提出については要しない。

く担当委員>

1)担当委員は、提出のあった実施状況報告書の内容を確認するとともに、現地を訪問し、大学の関係者から説明を受け質疑応答を行うとともに、教育現場・施設等の視察を行う(委員現地視察)。その際、原則として学生からの意見も併せて聴取する。なお、産業界の副担当委員については、委員現地視察に可能な範囲もしくは必要

に応じて対応するものとする。また、他の部会委員も任意で委員現地視察に参加することができる。

〇委員現地視察の実施時期

採択プログラムの実施期間のうち、実行初期段階としての2年目及び中間評価を踏まえた見直し時期にあたる5年目に行う。

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
_	現地視察	_	(中間評価)	現地視察		(事後評価)

〇大学の関係者(委員現地視察対応者)

- ・全体責任者(学長)(必要に応じて同席)
- ・プログラム責任者
- プログラムコーディネーター及びプログラム担当者
- ・メンター及びインターンシップ受入れ機関の担当者並びに修了者の就職先機関の 関係者(必要に応じて同席)
- 学生
- ・プログラム事務局(必要に応じて同席)

〇実施項目

- ① 学生との意見交換(60分)
- ② 教育現場・施設等の視察(30分)
- ③ プログラム責任者等との質疑応答(60分)
- ④ 講評(15分)
- ⑤ その他、担当委員が必要と判断する事項

スケジュール例

	事項	所要時間
13:00~13:30	担当委員打合せ	30 分
13:30~14:30	学生との意見交換	60 分
$14:30\sim15:00$	教育現場・施設等の視察	30 分
15:00~16:00	プログラム責任者等との質疑応答	60 分
16:00~16:15	担当委員打合せ	15 分
16:15~16:30	講評	15 分
16:30	終了	-

- 2) 担当委員は、以下(2) に示す観点に基づき、採択プログラムが適正に実施されているかどうかを把握し、必要に応じて指導・助言を行う。
- 3) 現地視察後、担当委員は現地視察報告書(別紙2) を作成し、部会に提出する。

<P0>

- 1) PO は、担当する採択プログラムのプログラムコーディネーターと連絡を保ちつつ、 毎年度、必要に応じて機動的に大学を訪問等(PO 現地訪問)し、学生との対話等を 含めプログラムの進捗状況を確認するとともに、プログラムの改善・充実に必要な相 談、助言等のケアを積極的に行う。
- 2) PO 現地訪問については、委員現地視察スケジュール例等を参考に実施する。また、 必要に応じて他の採択プログラムを担当する PO や部会委員も PO 訪問に参加すること ができる。

- 3) POは、委員現地視察にも原則として立ち会うものとする。
- 4) PO は、毎年度終了後に PO フォローアップ報告書(別紙3) を作成し、部会に提出する。
- 5) POは、原則として関係する部会にオブザーバー出席するものとする。

く委員会、部会>

部会は、担当委員から提出のあった現地視察報告書について、その内容を確認し、 必要に応じてコメントを付し、大学の確認を経た上で大学に開示・公表する。

また、POから提出のあったPOフォローアップ報告書について、その内容を確認し、必要に応じてコメントを付した上で大学に開示する。部会はこれら報告書の内容について委員会へ報告する。

各報告書における意見等への大学の対応状況については、部会の実施する中間評価 及び事後評価において確認し、各評価に反映させることとする。

なお、フォローアップの過程で進捗状況に著しい問題があると部会が判断した場合は、委員会へ報告し、委員会の決定に基づき、当該採択プログラムに対する文部科学省による支援を縮小もしくは廃止させることもありうるものとする。

(2) フォローアップの観点

- 1) グローバルリーダーの養成を目的とする事業の趣旨を踏まえ、
 - ・採択プログラムの実施・運営体制は適切に構築されているか。
 - ・採択プログラムは当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。中間評価結果を 踏まえた当初計画の見直し案に沿って、順調に進捗しているか。
 - ・Qualifying Examination 等、特色ある学位プログラムへの取組が進んでいるか。
 - ・審査結果表及び中間評価結果に付した留意事項及び現地視察報告書の意見等への対応 はなされているか。
 - ・PO フォローアップ報告書の意見等への対応はなされているか。
 - ・実質的な教育内容として効果が期待できるものとなっているか。もしくは、効果が上 がっているか。
 - ・事業経費の支出内容は、費用対効果を含め妥当であるか。
- 2) より適切に採択プログラムを実施できるようなアドバイスはあるか。

(3) その他

実施に当たっては、大学、担当委員、PO の過度の負担とならないように配慮する。

4. 公表等

各大学の作成する実施状況報告書における「プログラム進捗状況概要」及び部会で確認 した現地視察報告書については、振興会ホームページにおいて公表する。

5. 追跡調査

採択プログラムが事業目的に合致した成果を上げたかを将来的に確認・評価する観点から、大学は、プログラム修了者のキャリアパスを継続的に把握するとともに、就職先機関における評価を聴取し、採択プログラムにフィードバックする体制を構築することとし、振興会からの求めに応じて、その状況を報告する。

博士課程教育リーディングプログラム 平成〇〇年度プログラム実施状況報告書

採択年度			
機関名		全体責任者 (学長)	
類型		プログラム責任者	
整理番号		プログラムコーディネーター	
プログラム名称			
<プログラム進捗状 1. プログラムの 目	(次概要> (
2. プログラムの進			

1. 実施・運営体制の構築状況	
【応募時】 ①指導・支援体制	【平成〇〇年度実績/進捗状況/フォローアップ等を踏まえた応募時からの変更点】
②企画・運営・連携体制	
③評価体制	

2. 構想・計画の進捗状況	
【応募時】 ①学位プログラムの内容	【平成〇〇年度実績/進捗状況/フォローアップ等を踏まえた応募時からの変更点】
②優秀な学生の獲得・学修研究環境	
②優秀な学生の獲得・学修研究環境	

	3. 審査結果における留意事項等(プログラム委員会等からのコメン)	トにおける改善すべき事項)への対応とその結果	
	〇採択時(審査結果表)及び中間評価時(中間評価結果表)における		
	留意事項、並びにフォローアップ(現地視察報告書、POフォローア		
	ップ報告書)における指摘事項等(時系列で記載のこと)		
	!		
	,		
	!		
	,		
	,		
	,		
	,		
	,		
	,		
	,		
	,		
	, ,		
I	,		
	, ,		
	,		
I	, ,		
I	,		
	, ,		
	,		
I	, ,		
	,		
I	, ,		
	, ,		
	!		
	,		
	,		
	, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

4. プログラムの実績 ①修了生の就職先(平成25~〇年度プログラム修了者の状況)

※文部科学省の実施している実施状況調査の様式より抜粋しています。
※本調査票項目について、個人や大学が特定されるような形で、結果の公表を行うことはありません。
※H25~27年度末修了生のうち昨年度調査から就職状況が変わった方に関しては、1つ前の就職状況も記入してください。

								【プログラ』 現在の就職先	ム修了後、就職先に の1つ前の就職状派	変更のあった方のみ 兄について記入願い	、】 ます。											
1	、学 修 F度 年	多了 年度	所属 研究科	所属専攻	性別	授与された学位の名称	入学から修了(学 位授与)までの所 要修業年数	留学生	他大学出身	社会人	現在の就職状況	就職、起業等した者の所属機関の名称	※ 産業別 分類	主たる勤務地	リーディングプロ グラム におけるインター ンシップ・研修・ 共同研究先か否 か	現在の就職状況に至った年度	就職状況	就職、起業等した 者の所属機関の 名称	※ 産業別分類	主たる 勤務地	リーディングプロ グラム における インターンシッ プ・研修・ 共同研究先か否 か	備考
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						

5

注)行が不足する場合は、行をコピーして追加してください。 注)社会人の場合は、備考欄に在籍企業等を記載してください。 ※「産業別分類」欄は、「就職状況」欄が④⑤④・⑥・の場合に記載してください。分類は学校基本調査の「卒業後の状況調査票(2-2)」に準じて記載してください。

4. プログラムの実績 ②プログラムにおける特筆すべき成果

受賞成績や顕著な研究業績など、プログラム履修生び修了者の活躍に関する成果を中心に記入してください。(*必須項目)

	八字	5 44.		成果							
No	lo 分類*	日付*	概要*	詳細*	受賞者(団体)・著者 等*	参考URL	- 公開の可否*				
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

注: 分類は①省庁・企業等主催イベントでの受賞等、②個人の業績の受賞、学会等での受賞、③知的財産等取得、④起業、⑤社会的活動、学生自主企画、⑥その他 から選択してください。

注:本欄に記入された内容は、貴プログラムのフォローアップにおいて使用する他、成果の発信や各種会議や日本学術振興会のウェブサイトの掲載等のために使用することがあります。

公開を希望しないものについては、「公開の可否」のプルダウンリストより「否」を選択してください。

また、個人が特定されない形であれば公開しても差し支えないというものについては、プルダウンリストより「個人が特定されない形であれば可」を選択してください。

5-1. プログラムの応募学生数、合格者数及び受講学生数

(各年度3月31日現在(ただし平成29年度は提出日現在))

						口一及の刀の口切り	_ (; _; _ ; , , , , , , , , , , , , , , , ,	
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 * (今後の募集予定: 有・無)
プロ	コグラム募集定員数 (実数)	人	人	ا	人	人	人	人
		人	人	人	ا	人	ر ا	人
	うち留学生数	人	人	人	ر ا	人	ر ا	ر ا
① 応募	うち自大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人 (人)
学生数	うち他大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人 (人)
	うち社会人学生数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
	うち女性数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人 (人)
		人	人	人	ا	人	ر ا	,
	うち留学生数	人	人	人	ا	人	ر ا	人
② 合格	うち自大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人 (人)	人 (人)
者数	うち他大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
	うち社会人学生数	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
	うち女性数	人(人)	人(人)	人 (人)	人 (人)	人(人)	人 (人)	人(人)
		人	人	人	ا	人	ر ا	人
3	うち留学生数	人	人	人	人	人	人	人
②の うち	うち自大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
履修	うち他大学出身者数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
生数	うち社会人学生数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人(人)
	うち女性数	人(人)	人(人)	人 (人)	人(人)	人(人)	人(人)	人 (人)
(応	プログラム合格倍率 募学生数/合格者数) 対点第三位を四捨五入)	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍
充足率 (合格者数/募集定員)		0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%

7

【備考】	
※留学生については、「うち留学生数」にカウントするとともに、うち自大学出身者数、うち他大学出身者数、うち社会人学生数、うち女性数の()	に内数を記人してください。

8

※編入学生がいる場合は、年度ごとの内訳を備考欄に記入してください。

[※]平成29年度 * (今後の募集予定: 有・無)については、平成29年度内に受講を開始する学生を募集予定の場合(秋入学等)は「有」に、募集予定がない場合は「無」に 印を付けてください。 また、有の場合は、プログラム募集定員数(実数)欄には募集予定人数を含めず、下記備考欄へ募集時期とともに記入してください。

5-2. 学位プログラムの受講学生数・修了(予定)者数 ①区分制及び一貫制博士課程 (各年度3月31日現在(ただし平成29年度は提出日現在)) 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成23年度 プログラムの履修生数等 計 30 31 年度 年度 M1 M2 D1 D2 D3 計 M1 M2 D1 D2 D3 (D1) (D2) (D3) (D4) (D5) (D2) (D3) (D4) (D5) (D1) (D2) (D3) (D4) (D5) (D1) (D2) (D3) (D4) (D5) (D1) 0 うち留学生数 0 平成 うち自大学出身者数 0 0 23 うち他大学出身者数 0 0 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 0 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 2 4 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 うち留学生数 0 0 平成 0 うち自大学出身者数 0 0 2 5 0 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 0 選抜 うち女性数 0 0 うち留学生数 Λ 0 平成 26 うち自大学出身者数 0 0 0/ 年度 うち他大学出身者数 0 0 / 選抜 うち社会人学生数 0 うち女性数 0 うち留学生数 0 平成 0 うち自大学出身者数 2 7 うち他大学出身者数 0 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 0 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 28 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 2 9 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 0 Λ 0 うち留学生数 うち自大学出身者数 0 / うち他大学出身者数 0/

うち社会人学生数 うち女性数

修了者数 就職者数 プログラム対象学生以外で、プログラムのカリ キュラムの一部を受講している学生数

9 (機関名: 類型: プログラム名称:

(借 孝)	(備 考)	
(DHI , 12)	CDH - 70 /	

※「5-1. プログラムの応募学生数、合格者数及び履修生数」と整合性を取ってください。 ※「修了者数」の平成29、30年度については、修了予定者数を記入してください。 ※「就職者数」にはプログラムを修了後に就職した者(起棄した者も含む)のみをカウントしてください。 ※辞退者(Q.E.によるものも含む)がいる場合は、年度毎の内訳およびその理由を備考欄に記入してください。

10 (機関名: 類型: プログラム名称: 5-2. 学位プログラムの受講学生数・修了(予定)者数 ②医・歯・薬・獣医学の4年制博士課程 (各年度3月31日現在(ただし平成29年度は提出日現在)) 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成 平成 プログラムの履修生数等 D2 D3 D3 計 D2 D3 D4 計 D2 D3 D4 計 D2 D3 D3 3031 年度年度 D1 D4 計 D1 D2 D4 D1 D1 D1 D4 計 D1 D2 D3 D4 計 D1 D2 D4 計 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 0 0 23 うち他大学出身者数 0 0 0 0/ n 年度 うち社会人学生数 0 0 0 0 選抜 うち女性数 0 うち留学生数 0 平成 うち自大学出身者数 2 4 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 0 0 選抜 うち女性数 0 0 0 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 2 5 うち他大学出身者数 0 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 0 うち留学生数 n 平成 うち自大学出身者数 26 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 n 選抜 うち女性数 0 0 Λ うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 2 7 年度 うち他大学出身者数 選抜 うち社会人学生数 うち女性数 Λ うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 28 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 うち留学生数 平成 うち自大学出身者数 29 うち他大学出身者数 年度 うち社会人学生数 選抜 うち女性数 0 うち留学生数 うち自大学出身者数 計 うち他大学出身者数 うち社会人学生数 うち女性数 修了者数 就職者数 プログラム対象学生以外で、プログラムのカ

リキュラムの一部を受講している学生数

11 (機関名: 類型: プログラム名称:

(備	老)	
(NH	75 /	

- ※「16. プログラムの応募学生数、合格者数及び履修生数」と整合性を取ってください。 ※「修了者数」の平成29、30年度については、修了予定者数を記入してください。 ※「就職者数」にはプログラムを修了後に就職した者(起業した者も含む)のみをカウントしてください。 ※辞退者(Q.E.によるものも含む)がいる場合は、年度毎の内訳およびその理由を備考欄に記入してください。

12 (機関名: 類型: プログラム名称:

6.	事業経費
.	ナルルナシ

					(単位:千円)	
			実 支 出 額			
経費区分	内訳	申請大学での 実支出額	共同実施機関で の実支出額 計		交付決定額	
物品費						
	小計					
1 til +++ =+1 A						
人件費・謝金	.1. =1					
	小計					
旅費						
水 頁						
	77. 11					
その他(奨励金)						
	小計					
その他(奨励金以外)						
	小計					
	合 計					
※交付決定額と宝支出	額に乖離(返還等)が生じた場合は、下記に	 「乖離」た金額及びそ	┃	\$1.1		
乖離した金額	识(一种)(定题的)/// 工艺(E)的自16(That					
(千円)						
理由		•				
连田						

博士課程教育リーディングプログラム現地視察報告書(平成〇〇年度)

ᄺᄱ		
扣当水白	•	
担当委員	•	

機	関		名				整理番号	
プロ	ログラ	ム名	称					
プロ	コグラ	ム責任	者			プログラムコーデ	ィネーター	
1.	進捗∜	犬況概	要					
2 .	意見	(改善	を要	「する点、耳	€施した助言領	等)		

博士課程教育リーディングプログラム PO フォローアップ報告書(平成〇〇年度)

プログラムオフィサー氏名:

機	関	名			整理番号		
プロ	· グラ.	ム名称					
プロ	グラム	責任者	プログラ	ラムコーデ	ィネーター		
1.	進捗状	況概要	(留意事項、フォローアップにお	ける指摘	i事項への対	応状況、	及び実施し
<i>t</i> =	支援の	概要、	助言内容等含む)				
2.	課題・	意見等	(今後、フォローアップが必要と)	思われる	点等)		
3 . ₹	その他	(所感等	:)				